

学 期	単 元 名	実 施 時 期	考 査 範 囲	学 習 内 容 (単元・章・項)	学 習 の ね ら い ・ 方 法	観 点 別 評 価			
						A	B	C	D
1 学 期	第 1 章	4 月	中 間 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・生体物質と細胞 ・生命現象とたんぱく質 ・代謝とATP ・呼吸と発酵の仕組み ・光合成の仕組み・窒素同化 	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質は様々な形で生命現象にかかわっており、その基本的な性質を学びます。 ・代謝の同化と異化の代表的な反応である呼吸と光合成について詳しく学びます。 ・有機窒素化合物の合成の仕方について学び、植物が成長するための条件について理解を深めます。 	◎	◎	◎	○
		5 月				第 1 章	6 月	期 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAとその複製 ・タンパク質の合成 ・遺伝子の発現調節の仕組み
2 学 期	第 2 章	9 月	中 間 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオテクノロジー ・生殖の方法と遺伝 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が子孫を残す方法と、形質が受け継がれる仕組みについて学びます。 		○		
		1 0 月				第 3 章	1 1 月	期 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の配偶子形成 ・発生の仕組みと形態形成 ・植物の発生と形態形成
3 学 期	第 3 章	1 月	学 年 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> ・刺激の受容と応答 ・神経の働き ・効果器の働き ・動物の行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は、周りの環境から様々な刺激受け取り行動に移しています。ここでは刺激を受け取ってから判断を下し、行動に移すまでの仕組みを詳しく学びます。 ・動物について学ぶことは医療系への窓を開くことにつながります。 		○		
		2 月				3 月	観 点 別 評 価 に つ い て	A;興味・関心・意欲・態度 B;思考・判断 C;表現・技能 D;知識・理解 ◎;特に重視するもの ○;重視するもの	